

人の性の発達の多様性

講師：横山 恭子

- ・ 上智大学総合人間科学部心理学科教授
- ・ 上智大学ウェルネスセンター長
- ・ 上智学院ダイバーシティ推進室長



人の性の発達は、わたしたちが学生時代に学んだよりも多様なものであることがわかってきています。染色体のXXが女性で、XYが男性であるという考えも、社会的生物学的固定観念でしかないとも言われるようになりました。

今回はまず、からだの性の多様性について、DSD (Differences of Sex Development) について考える中で一緒に考えてみたいと思っています。

次に、DSDとLGBTQ+はどのような関係にあるのかについて、考えてみたいと思います。それぞれの当事者の主張は、時として正反対だと思われる部分がありますが、できる範囲でそれを紹介していきたいと思います。

3番目に、LGBTQ+について、その生きにくさと多様性についてはさまざまなメディアでも取り上げられていますが、ここでも紹介できればと思っています。

最後に、わたしたちが関わりつつ一緒に生きていく仲間として、仲間に対して何ができるのか、一緒に考えていきたいと思います。

9月21日（水） 11:00-12:30

対象：上智大学短期大学部教職員

参加方法：Zoom ID: 968 230 8988

Passcode: 281088

* 講演は日本語で行われますが、英語資料も配付します。

The lecture will be given in Japanese, but English materials will also be distributed.